

景気動向調査結果

(令和6年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 6 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 6 年 5 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、468 社（製造業 232 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 236 社）で、回答率は 66.9 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2905）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

令和6年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、一部で持ち直しているものの、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。

製造業の業況は、自動車関連の受注、生産に増加がみられるものの、継続するエネルギー・原材料価格高騰等により収益率に低下がみられるとともに、中国経済の減速の影響等により電機・電子や機械などで受注、生産に弱さがみられ、全体では8期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、飲食業、宿泊業でインバウンド需要の増加などによりプラス水準となったものの、建設業、小売業などで受注が減少したことによりマイナス水準となったことから、全体では2期連続でマイナス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和5年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 23.5$ となり、前回調査時（令和6年1月）の $\Delta 27.1$ から3.6ポイント改善しました。

3か月前（令和6年1月）と比較したD Iは $\Delta 10.4$ となり、前回調査時の $\Delta 19.8$ より9.4ポイント改善しましたが、10期連続のマイナス水準となりました。

3か月後（令和6年7月）の予想では、D Iは $\Delta 4.4$ となり、9期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が弱含んでいる一方で、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。モーター等では、航空機向けで、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が弱含んでいる一方で、半導体向けは、受注、生産が持ち直しています。建設機械は、海外向けの受注が好調であることから、生産、販売が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、受注、生産が堅調に推移する一方で、海外向けでは、円安を追い風に販売が堅調であるものの、原材料価格高騰の影響を受け、一部で受注、生産に足踏みがみられます。レンズは、自動車関連向けでは受注、生産が堅調に推移しています。映像関連向けでは需要の増加により一部で受注、生産に回復がみられます。圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産に一服感がみられます。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に増加がみられるものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、一部で生産活動が弱含んでいます。

オ 味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。酒類では、季節的要因等により、受注、生産に増加がみられます。ワインは、国内消費の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。飲料は、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

(2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が23.0%と前回(20.9%)より増加し、「減少」とする企業が46.1%と前回(49.5%)より減少した結果、D Iは前回(△28.6)より改善し、△23.1となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が21.4%と前回(13.6%)より増加し、「減少」とする企業が24.0%と前回(35.4%)より減少した結果、D Iは前回(△21.8)より改善し、△2.6となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は15.8%、「減少」とする企業が15.4%となった結果、D Iは0.4となりました。

(3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が23.6%と前回(25.5%)より減少し、「減少」とする企業が46.7%と前回(49.0%)より減少した結果、D Iは前回(△23.5)とほぼ同じ△23.1となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が19.7%と前回(16.2%)より増加し、「減少」とする企業が28.9%と前回(37.3%)より減少した結果、D Iは前回(△21.1)より改善し、△9.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業18.1%、「減少」とする企業が16.3%となった結果、D Iは1.8となりました。

(4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が46.1%と前回(46.1%)と同じとなり、「安い」とする企業が7.0%と前回(7.4%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(38.7)とほぼ同じ39.1となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が22.0%と前回(13.2%)より増加し、「安い」とする企業が1.3%と前回(4.4%)より減少した結果、D Iは前回(8.8)より改善し、20.7となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が18.8%、「安い」とする企業が2.2%となった結果、D Iは16.6となりました。

(5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が8.5%と前回(7.5%)より増加し、「苦しい」とする企業が21.0%と前回(23.6%)より減少した結果、D Iは前回(△16.1)より改善し、△12.5となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が7.2%と前回(5.1%)より増加し、「苦しい」とする企業が13.0%と前回(16.7%)より減少した結果、D Iは前回(△11.6)より改善し、△5.8となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が4.5%、「苦しい」とする企業が16.7%となった結果、D Iは△12.2となりました。

(6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が18.3%と前回(21.1%)より減少し、「低下」とする企業が43.5%と前回(43.6%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(△22.5)より悪化し、△25.2となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が11.4%と前回(8.9%)より増加し、「低下」とする企業が27.6%と前回(31.5%)より減少した結果、D Iは前回(△22.6)より改善し、△16.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が9.7%、「低下」とする企業が20.3%となった結果、D Iは△10.6となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が弱含んでいる一方で、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。

(モーター等) 産業用ロボット向けは、中国での需要減少の影響等により、受注、生産に弱さがみられます。航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) 車載部品は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産が弱含んでいます。

一般機械

(工作機械) 工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が弱含んでいる一方で、半導体向けは、受注、生産が持ち直しています。

(金型) 金型は、自動車関連向けで、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、受注、生産が弱含んでいます。

(建設機械) 建設機械は、海外向けの受注が好調であることから、生産、販売が堅調に推移しています。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けで、コスト高騰に伴う機械購入の需要減少等により、低調に推移しています。

精 密

(時 計)

時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、受注、生産が堅調に推移する一方で、海外向けでは、円安を追い風に販売が堅調であるものの、原材料価格高騰の影響を受け、一部で受注、生産に足踏みがみられます。

(レ ン ズ)

レンズは、自動車関連向けでは受注、生産が堅調に推移しています。映像関連向けでは需要の増加により一部での受注、生産に回復がみられます。

(計 器)

圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産に一服感がみられます。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

自 動 車 部 品

自動車部品では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に増加がみられるものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、一部で生産活動が弱含んでいます。

食 料 品

(味 そ)

味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。

(酒 類)

清酒は、季節的要因等により、受注、生産に増加がみられます。ワインは、国内消費の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

(飲 料)

飲料は、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

織 維 ・ 衣 服

繊維・衣服は、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷は、季節的要因により、受注、生産が増加しているものの、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和5年4月）と比較したD Iは $\Delta 11.1$ となり、前回調査時（令和6年1月）の $\Delta 5.0$ より6.1ポイント悪化し、2期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和6年1月）と比較したD Iは $\Delta 0.5$ となり、前回調査時の $\Delta 28.3$ より27.8ポイントと大幅に改善しました。

また、3か月後（令和6年7月）の予想では、D Iは $\Delta 21.2$ となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、技術者を含めた人手不足や時間外労働の上限規制による工期の長期化等により受注件数D Iが悪化したことに加え、資材価格の高騰が継続しており、収益率D Iも悪化したことから、業況D Iは $\Delta 34.8$ と前回（ $\Delta 22.9$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 28.9$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、技術者の不足や時間外労働の上限規制等で受注件数D Iが悪化し、また外注費、ハードウェア関連機器の高騰により収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 16.7$ と前回（30.0）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 20.0$ です。

ウ 小売業

小売業では、販売価格の上昇による消費者の買い控えや他店との競合等により客数D Iが悪化し、収益率D Iについても人件費や仕入価格の高騰によりマイナス水準が続いていることから、業況D Iは $\Delta 15.5$ と前回（ $\Delta 12.6$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 23.4$ です。

エ 卸売業

卸売業では、仕入価格や物流コスト等の増加により収益率D Iが悪化したものの、食品分野等の取引先の業況回復により取引先数D Iが改善したことから、業況D Iは $\Delta 10.0$ と前回（ $\Delta 35.3$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 45.0$ です。

オ 飲食業

飲食業では、宴会需要やインバウンドを含めた観光客数の増加により、客数D Iが改善しているものの、原材料価格や人件費の高騰により収益率D Iが3期連続でマイナス水準が続いていることから、業況D Iは22.7と前回（27.3）よりも悪化しましたが、プラス水準が続いています。

3か月後の業況D Iは、22.7です。

カ 宿泊業

宿泊業では、インバウンド需要やリピート顧客の利用再開等により客数D Iが改善したほか、各種コストの増加分を価格転嫁することで収益率D Iも改善していることから、業況D Iは72.7と前回(53.4)より改善し、プラス水準が続いています。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 9.1$ です。

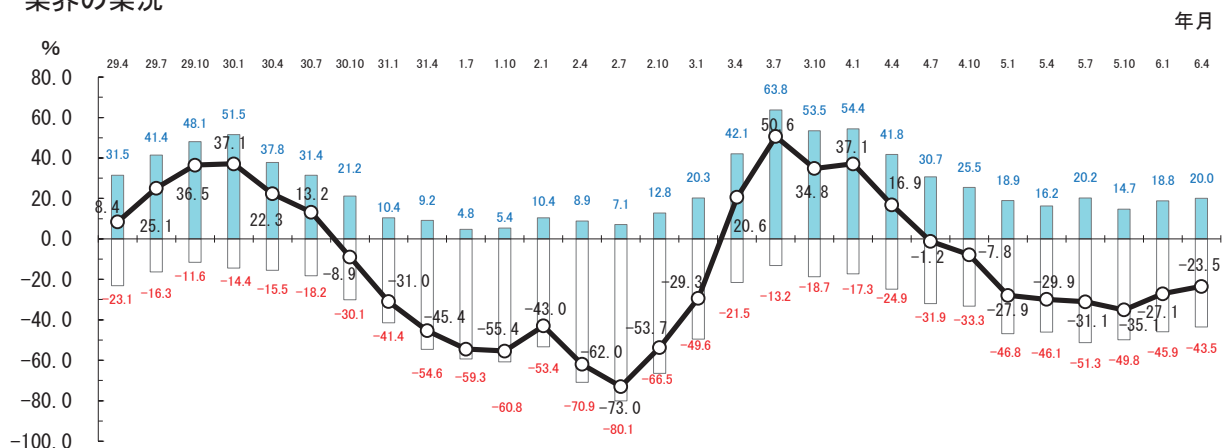
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

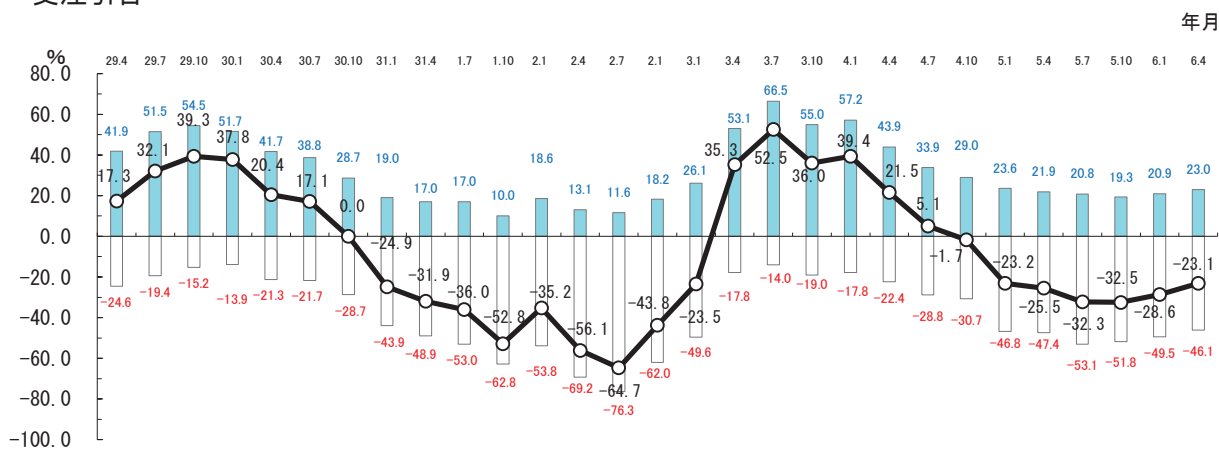
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

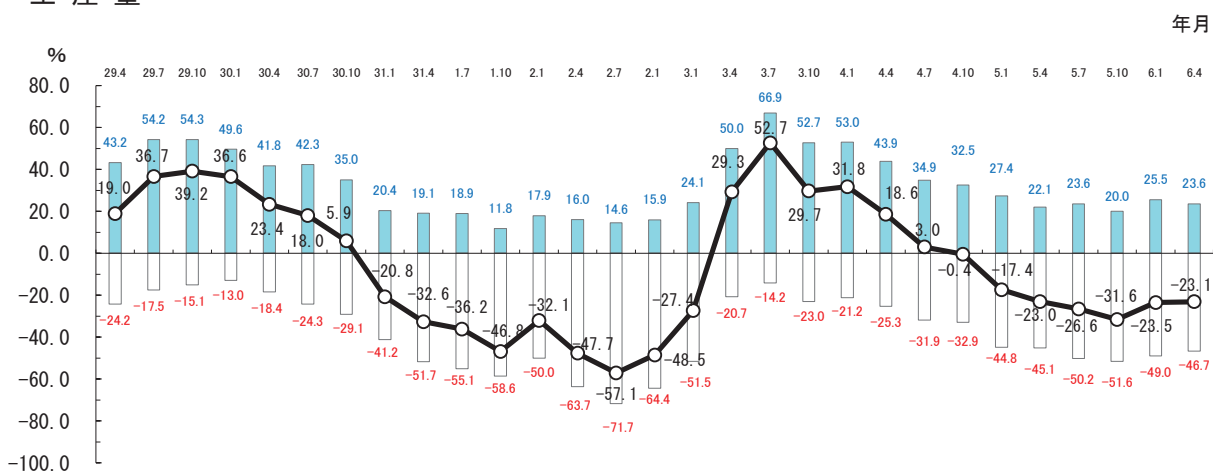
業界の業況



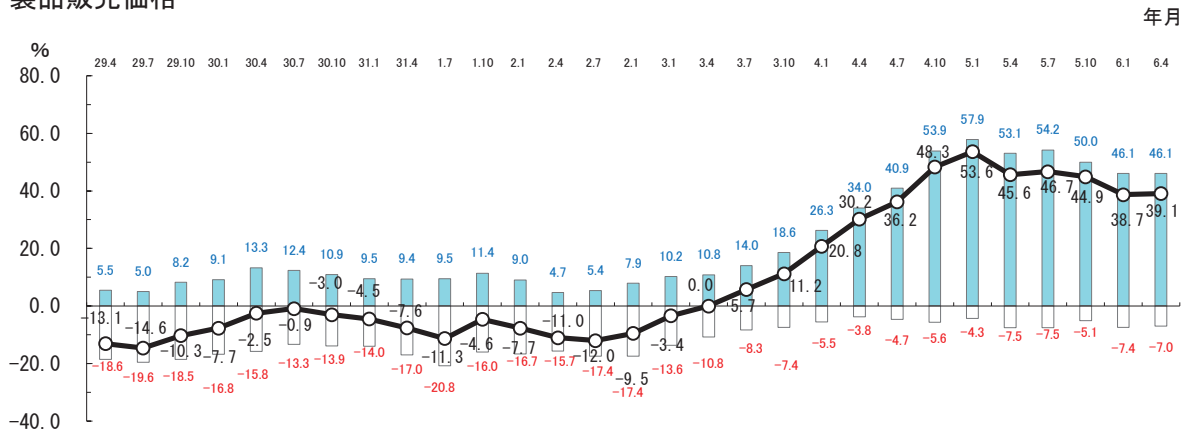
受注引合



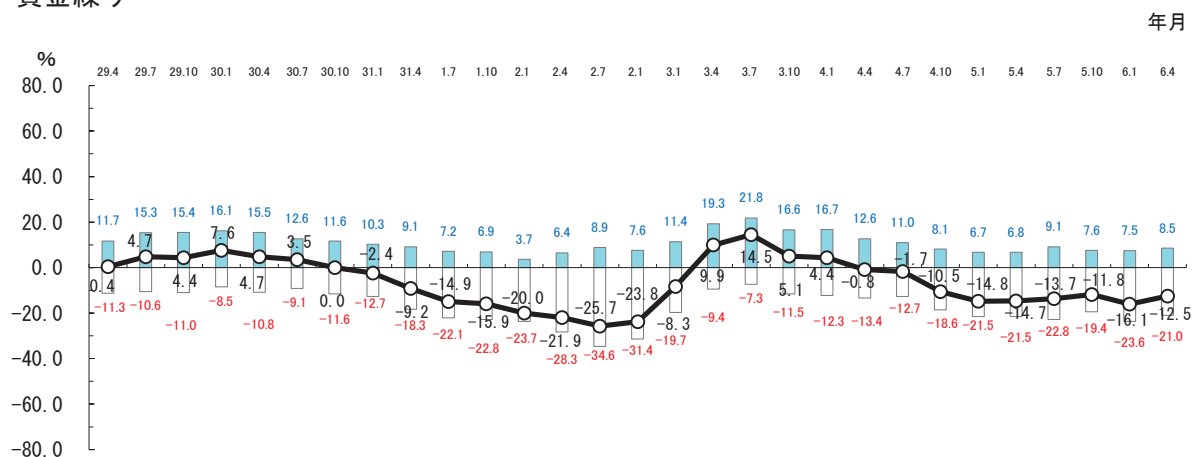
生産量



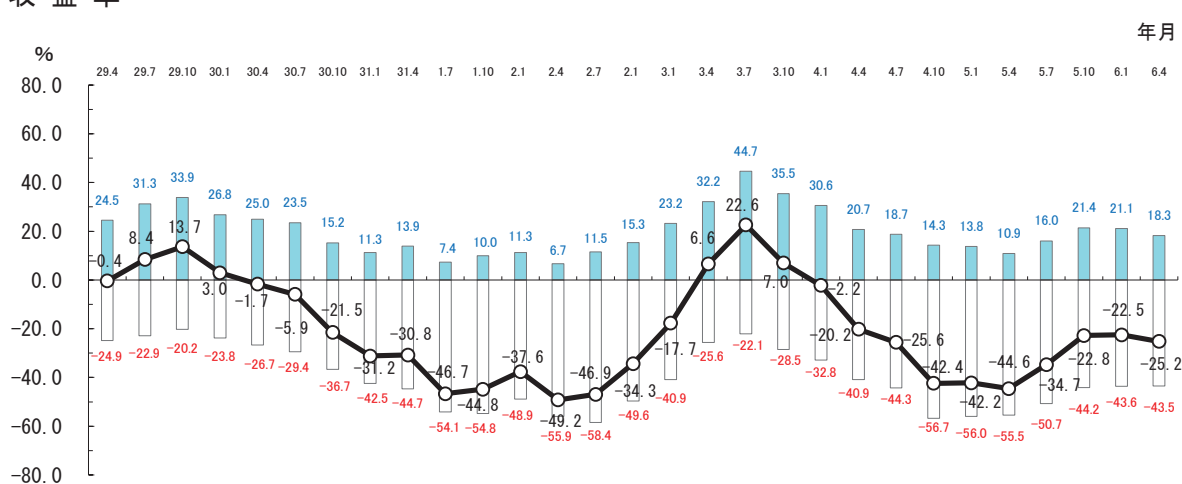
製品販売価格



資金繰り

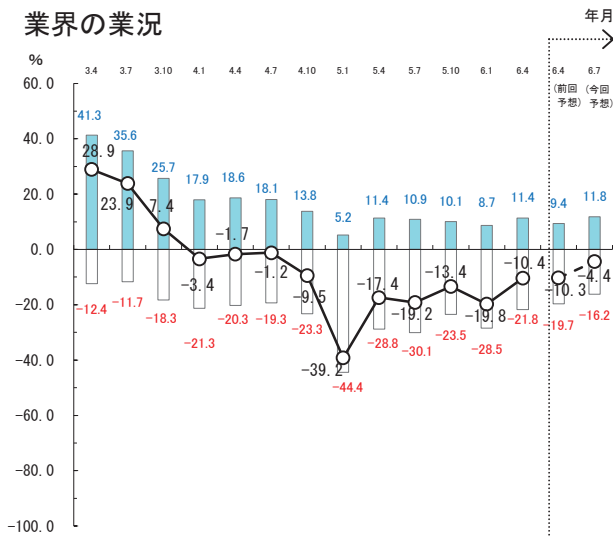


収益率

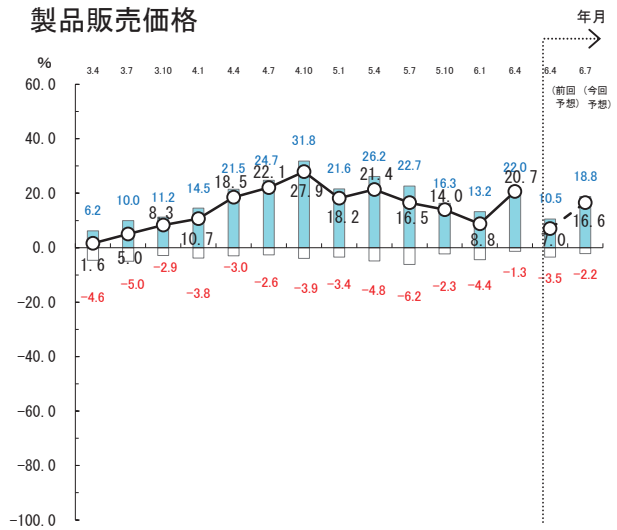


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

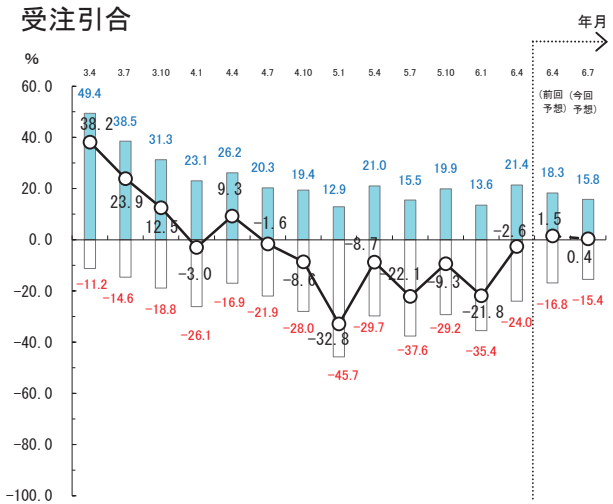
業界の業況



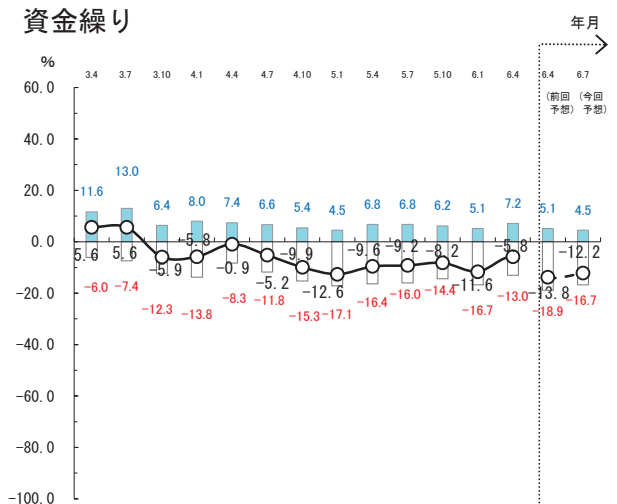
製品販売価格



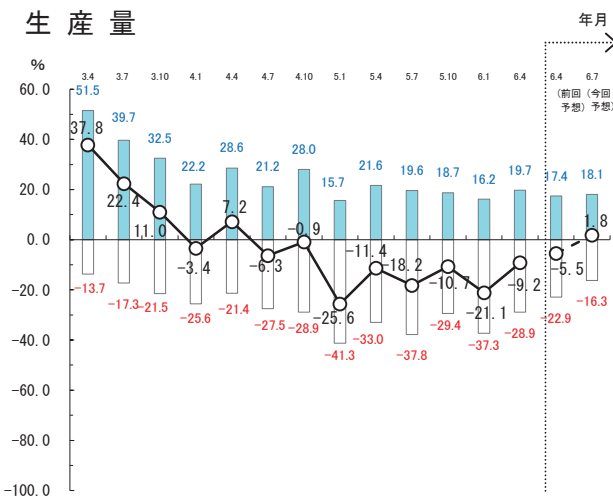
受注引合



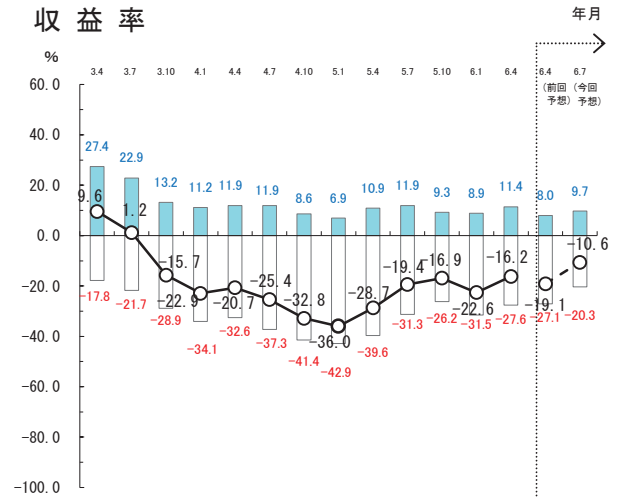
資金繰り



生産量



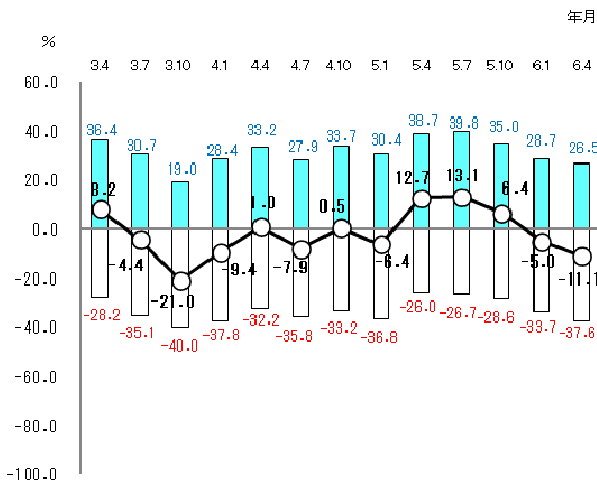
収益率



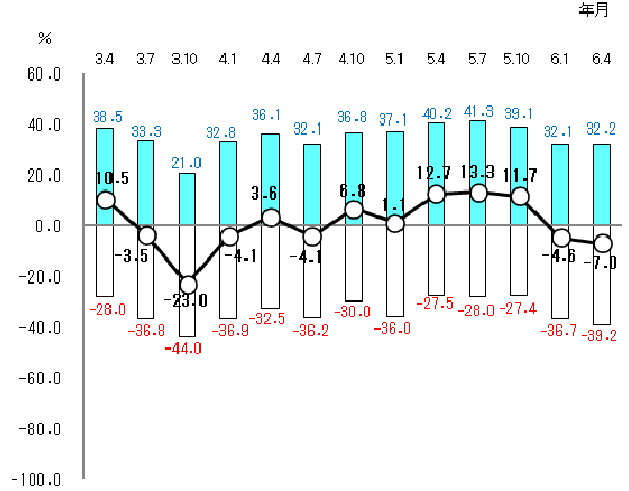
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

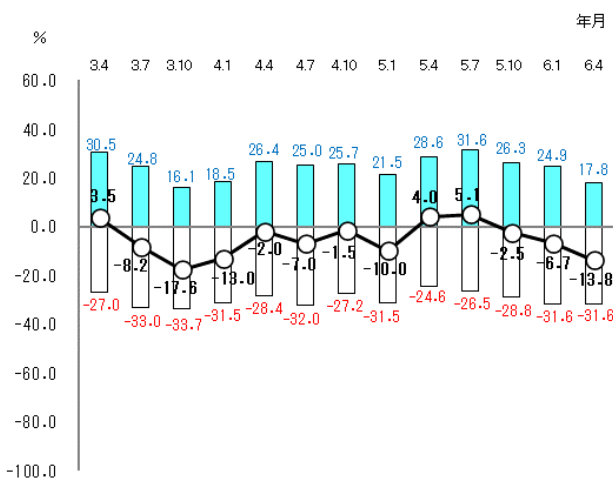
業況



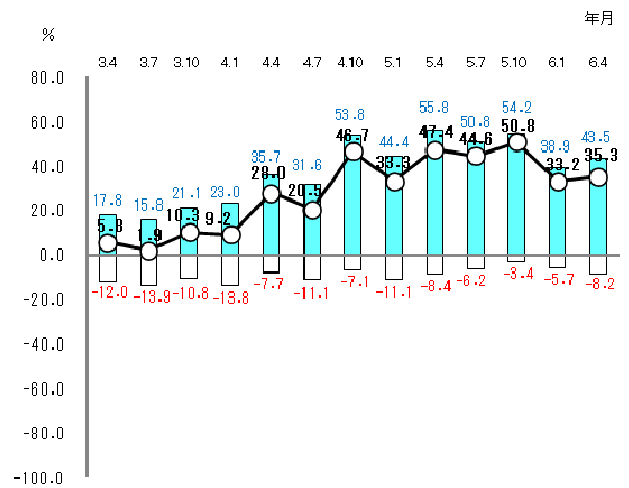
売上高



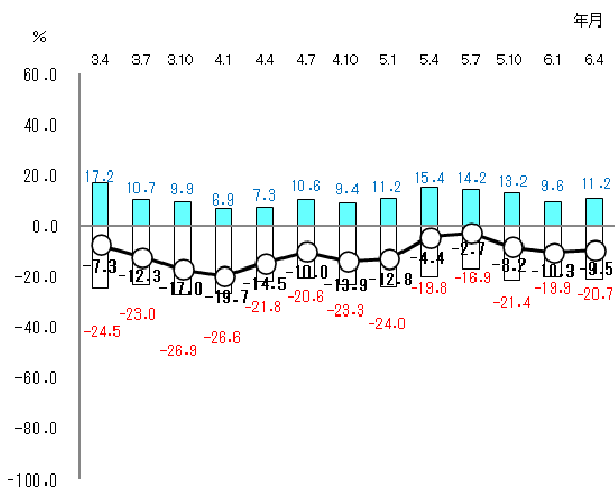
客数 (受注件数・取引先数)



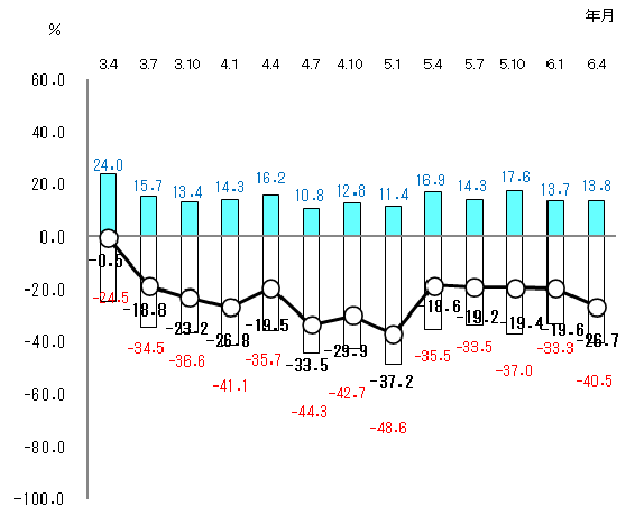
販売価格



資金繰り

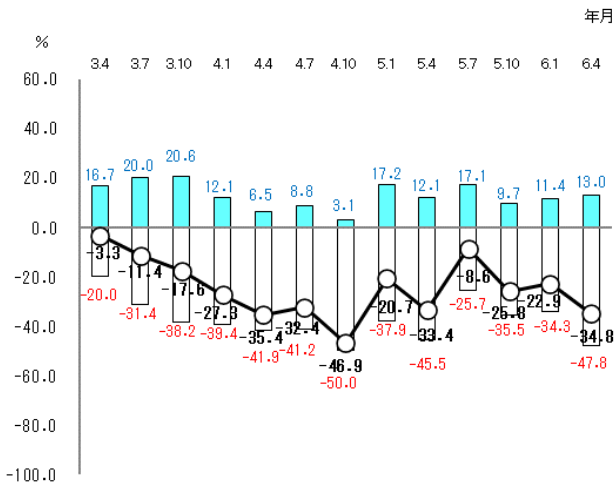


収益率

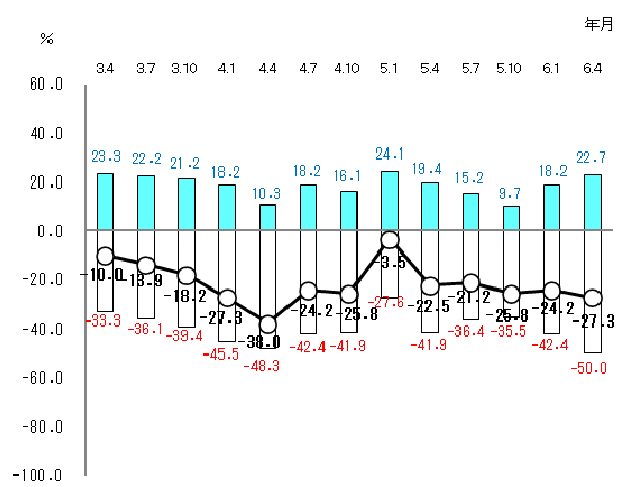


ア 建設業

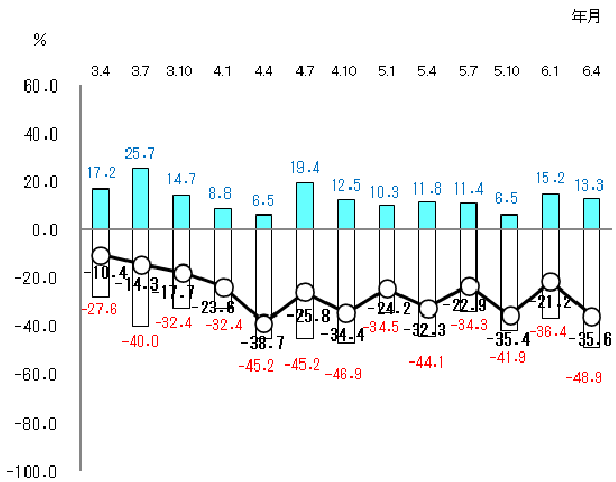
業況



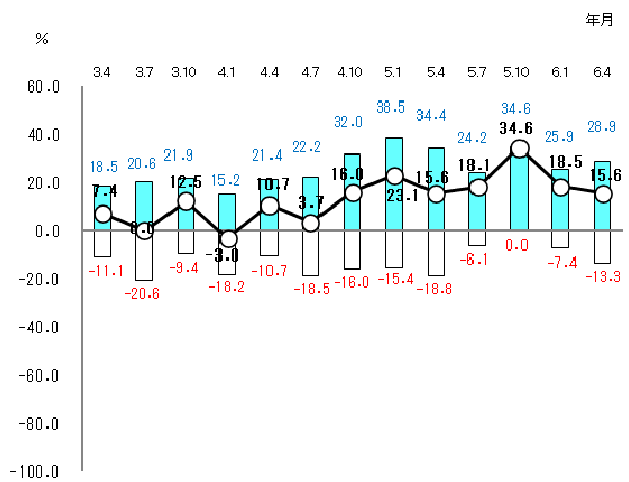
売上高



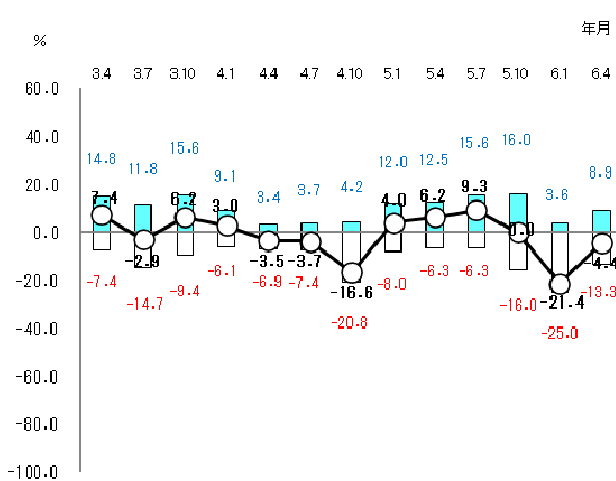
客数 (受注件数)



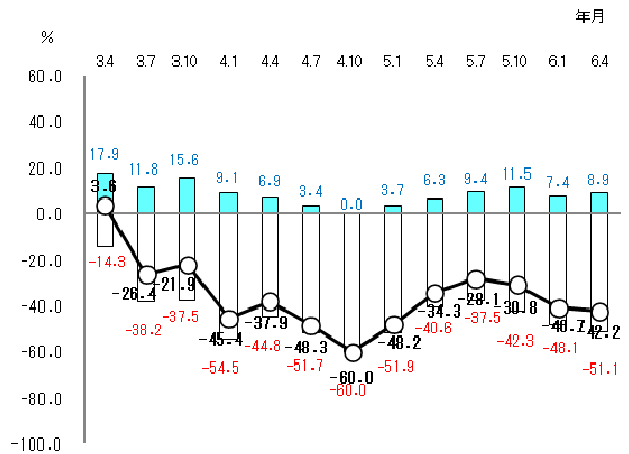
販売価格



資金繰り

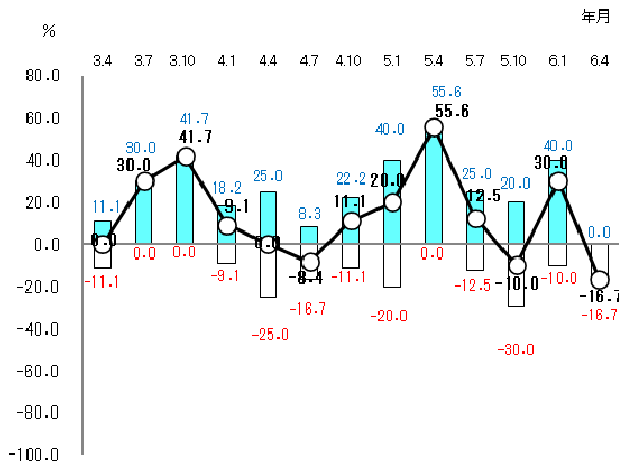


収益率

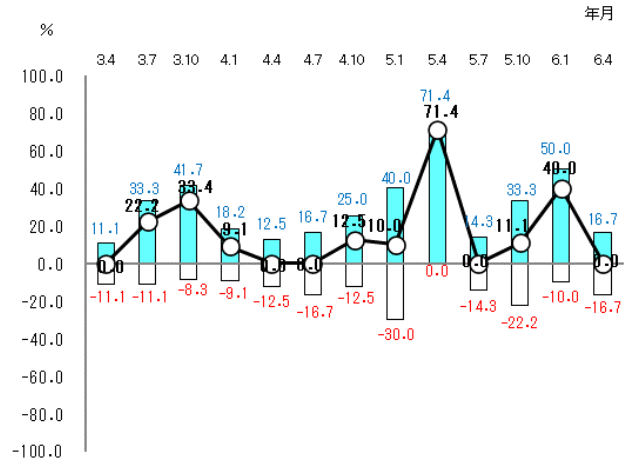


イ 情報サービス業

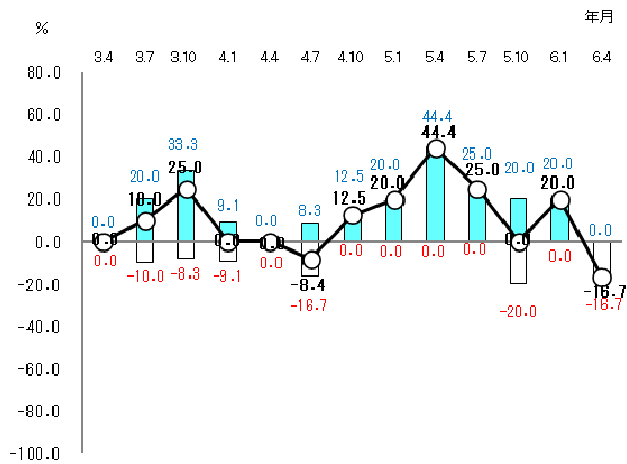
業況



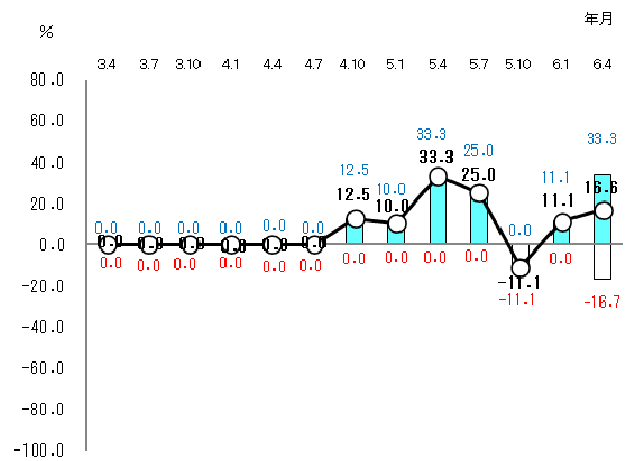
売上高



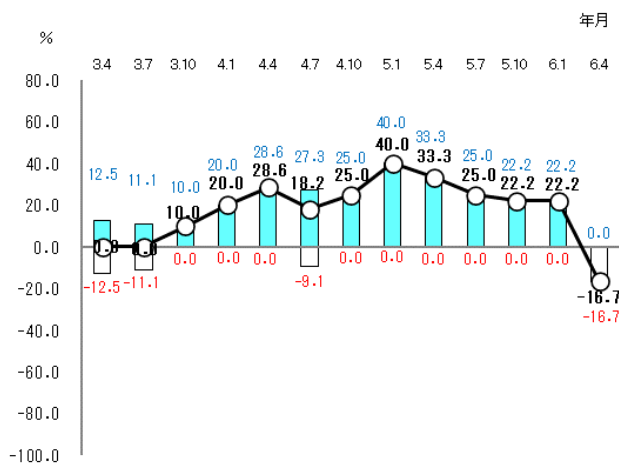
客数 (受注件数)



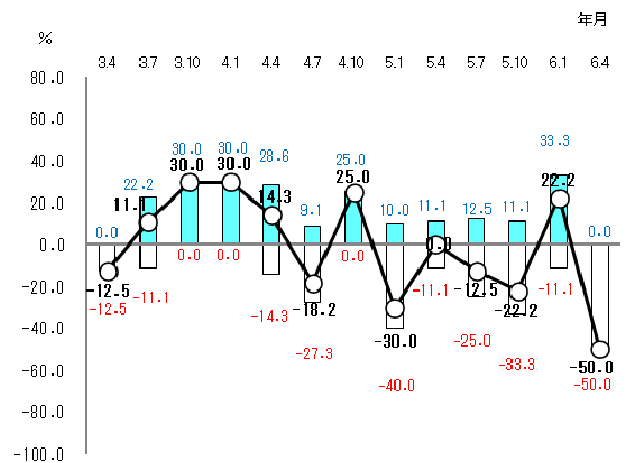
販売価格



資金繰り

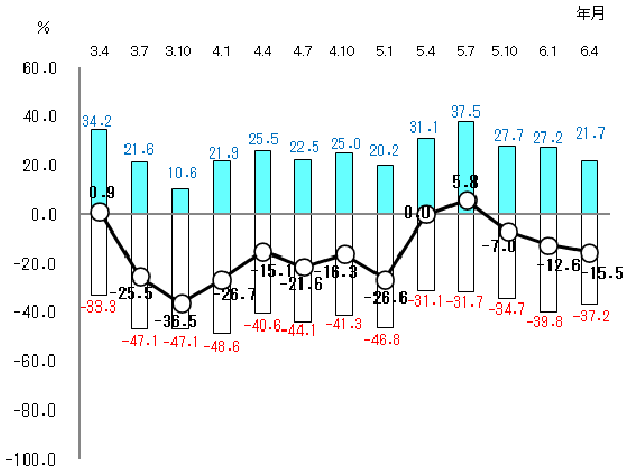


収益率

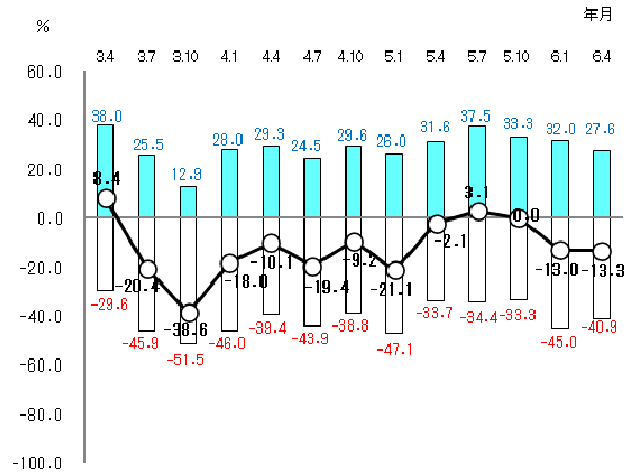


ウ 小売業

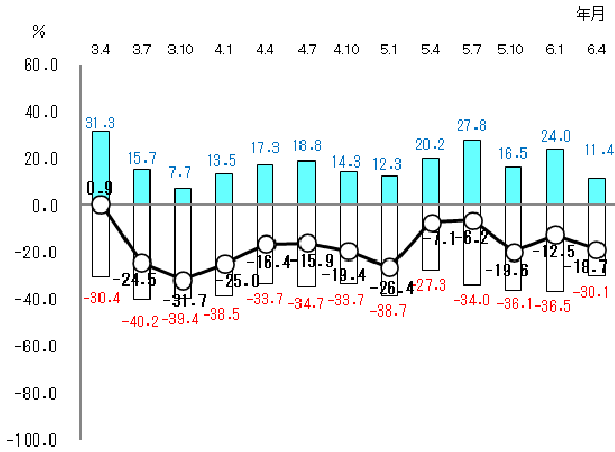
業況



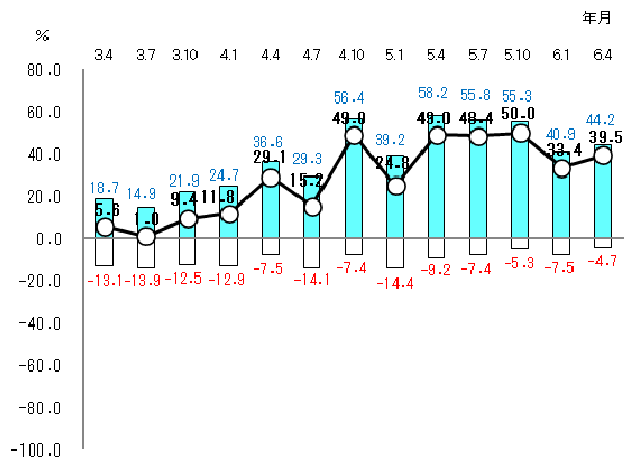
売上高



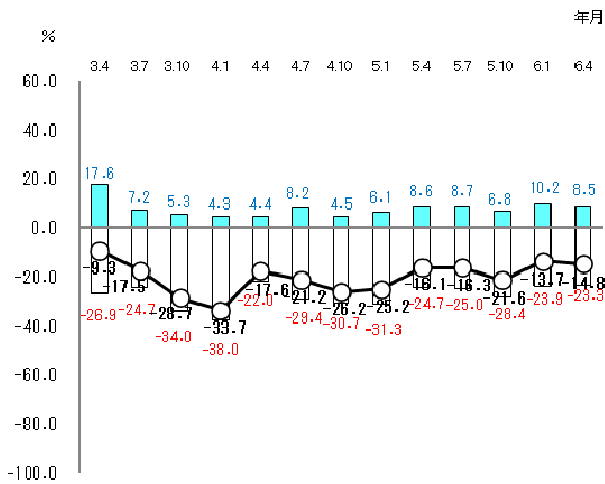
客数



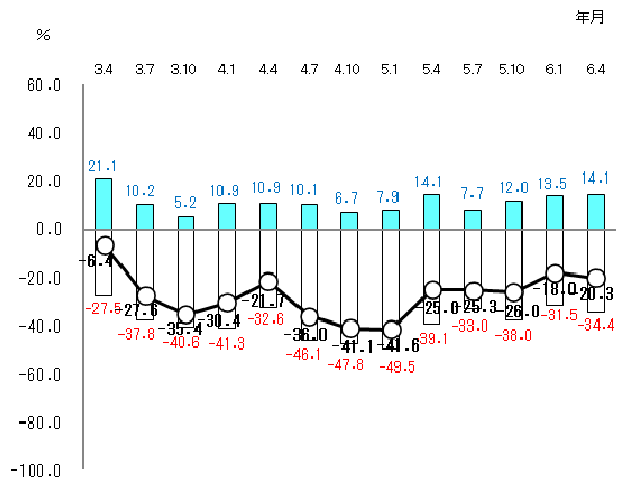
販売価格



資金繰り

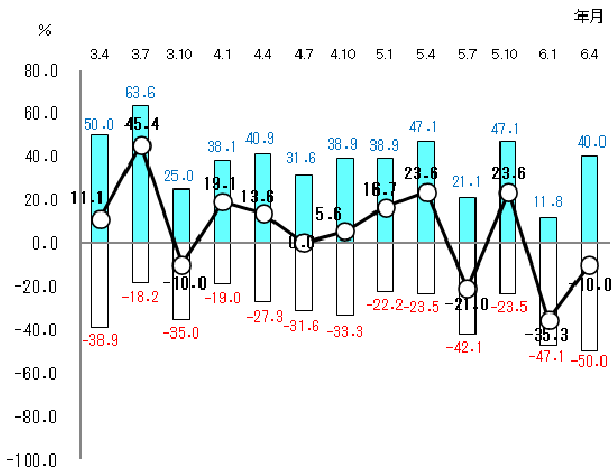


収益率

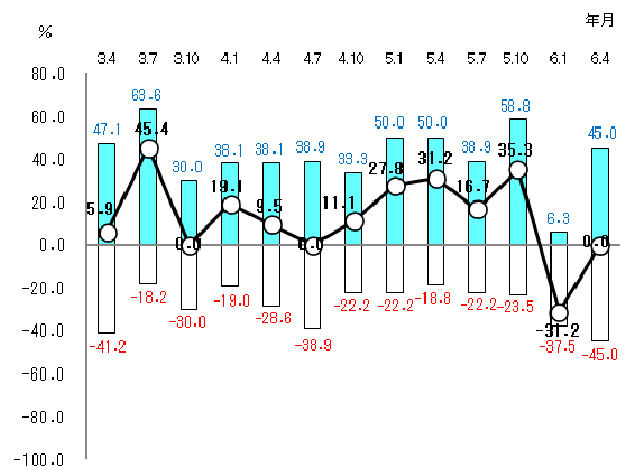


工 卸売業

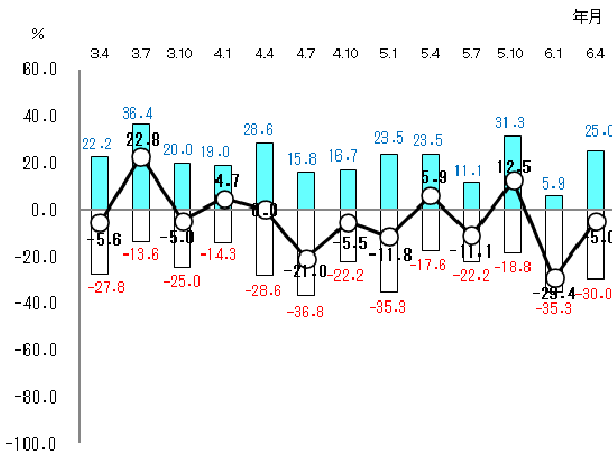
業況



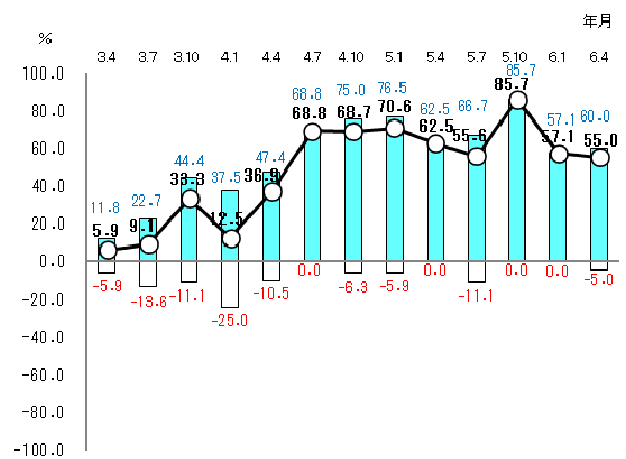
売上高



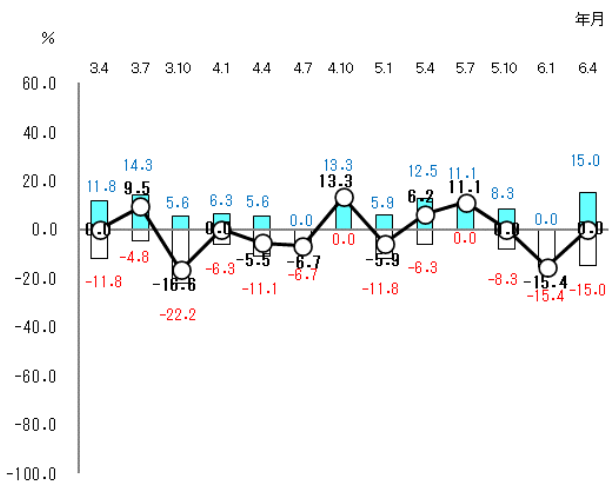
客数 (取引先数)



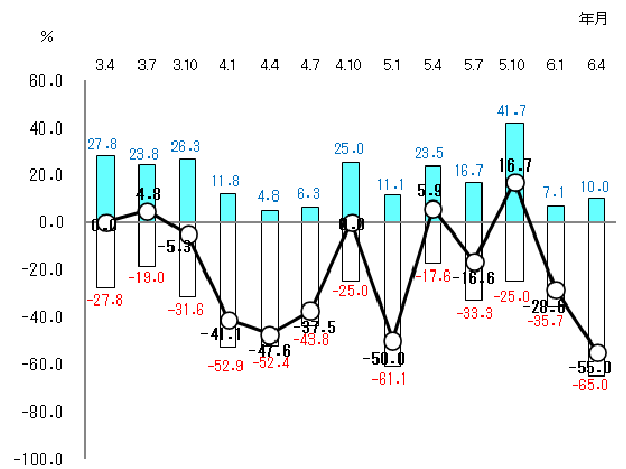
販売価格



資金繰り

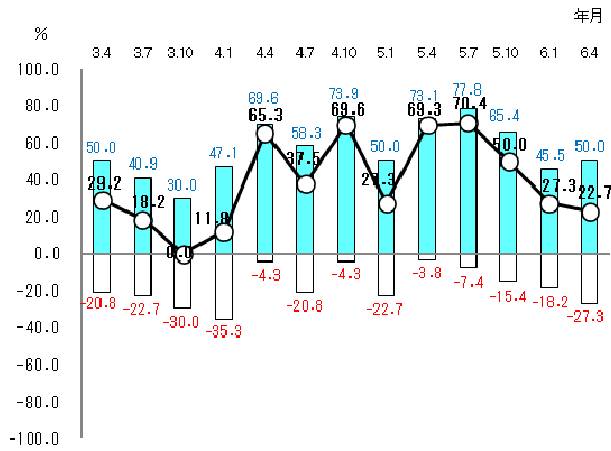


収益率

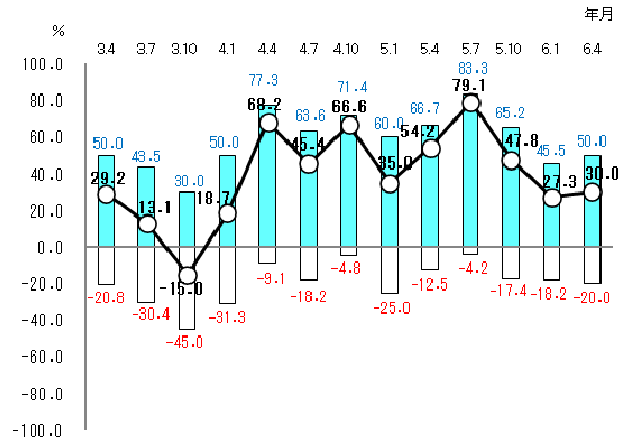


才 飲食業

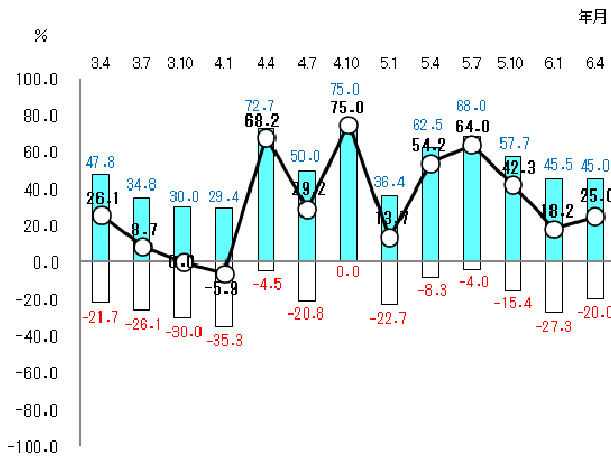
業況



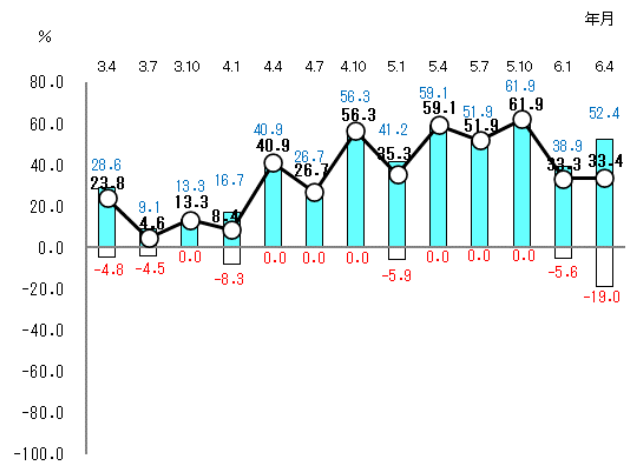
売上高



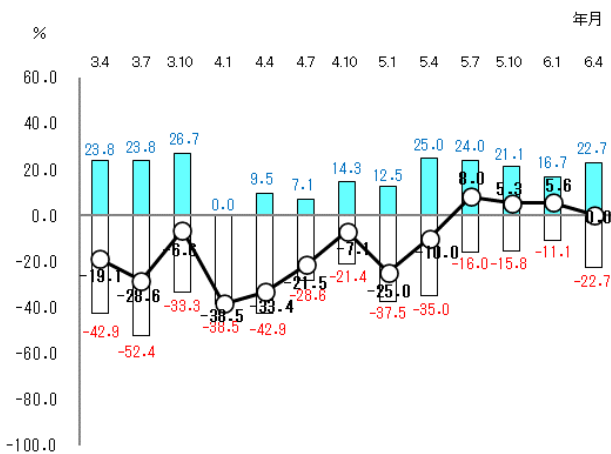
客数



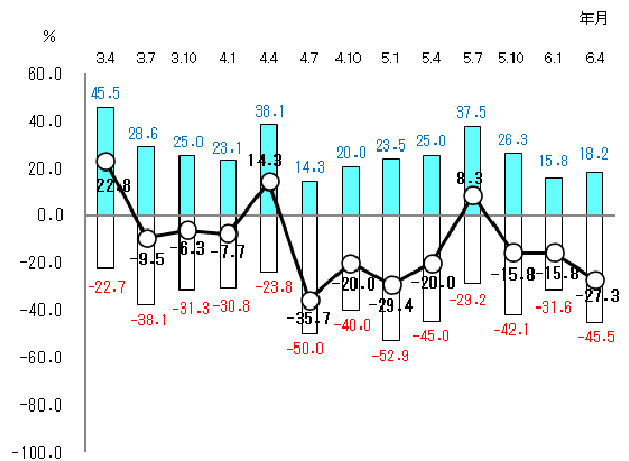
販売価格



資金繰り

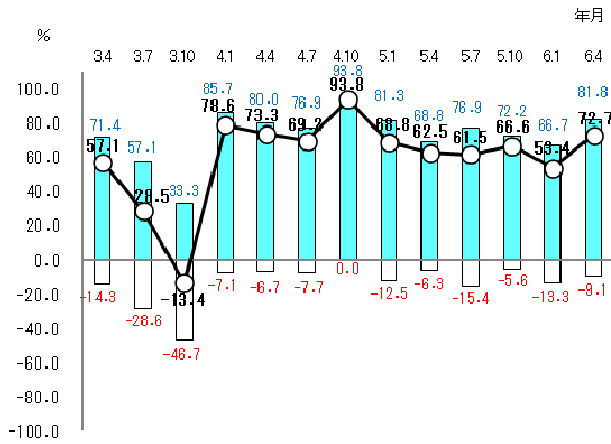


収益率

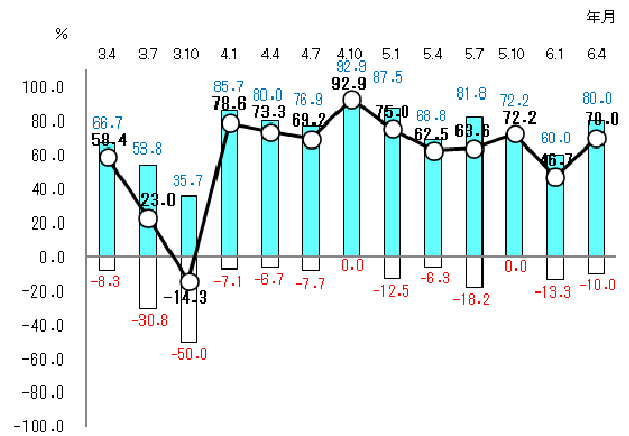


力 宿泊業

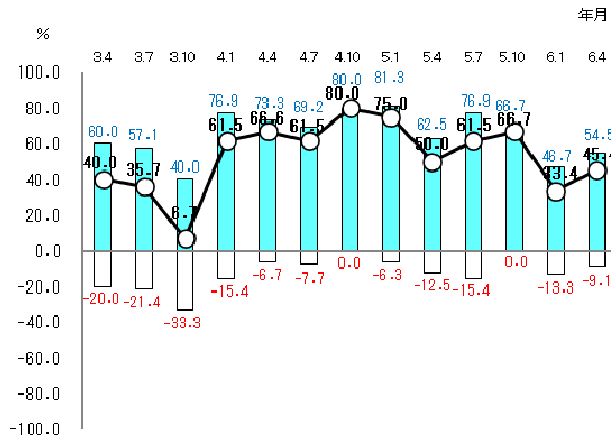
業況



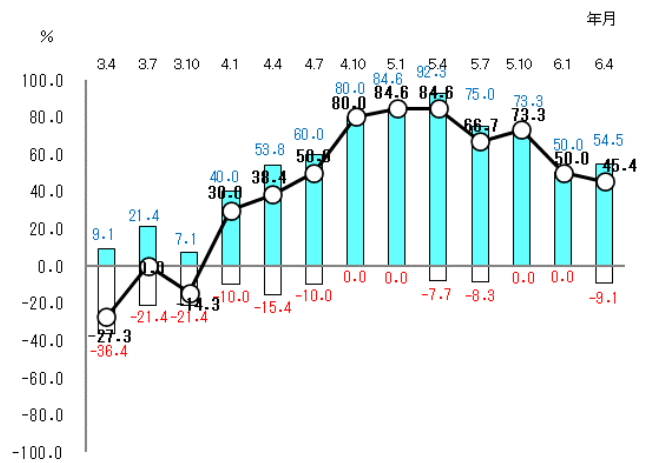
売上高



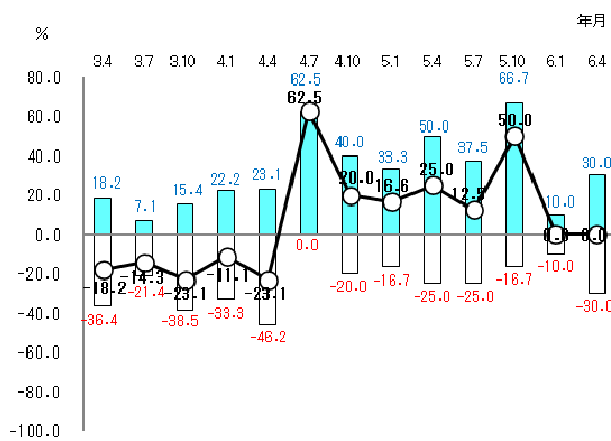
客数



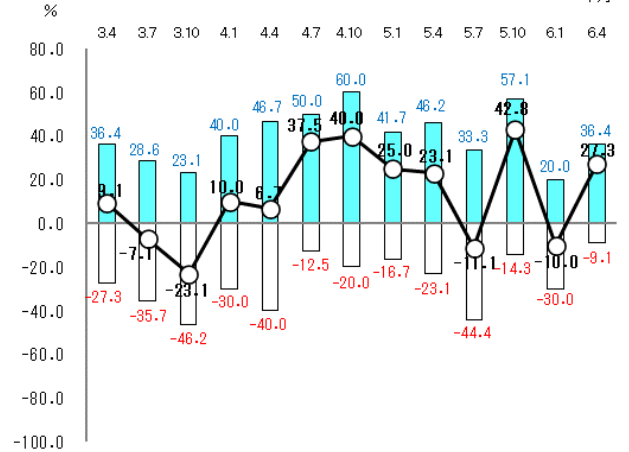
販売価格



資金繰り

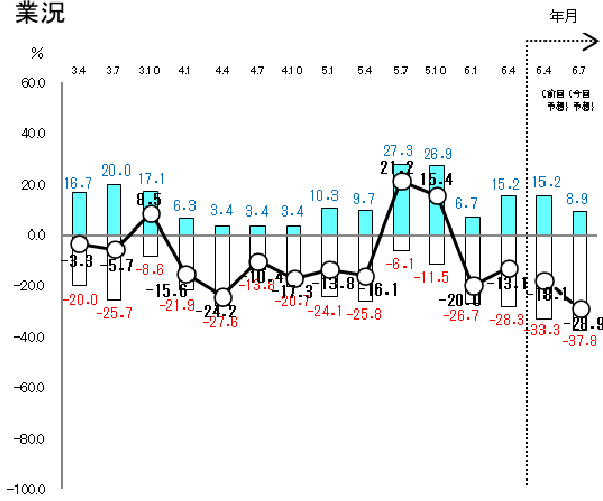


収益率

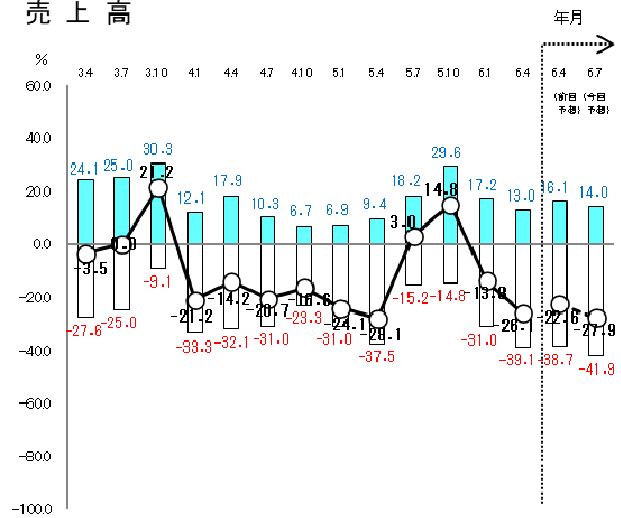


ア 建設業

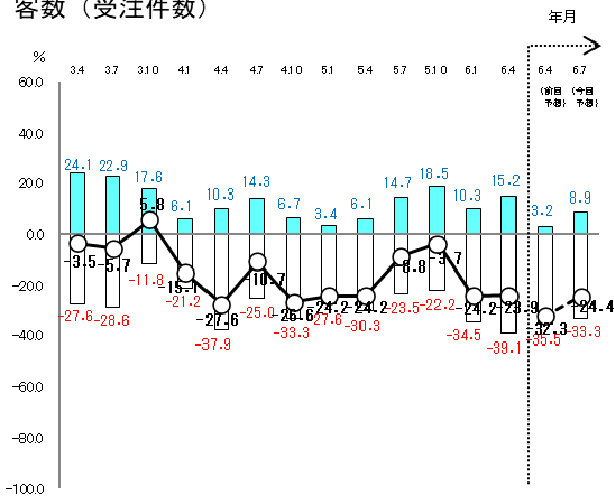
業況



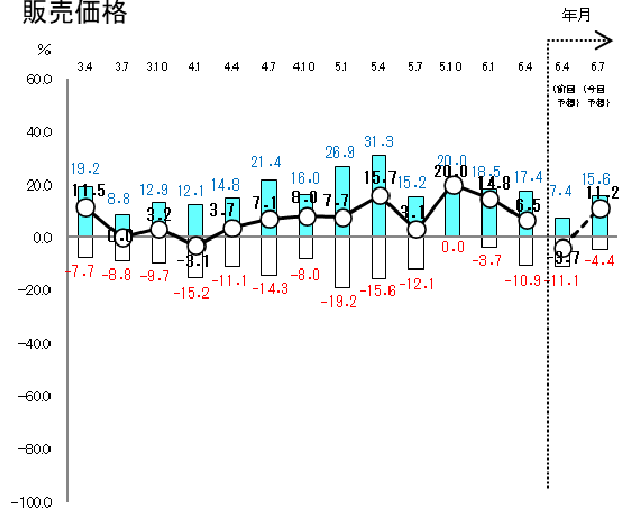
売上高



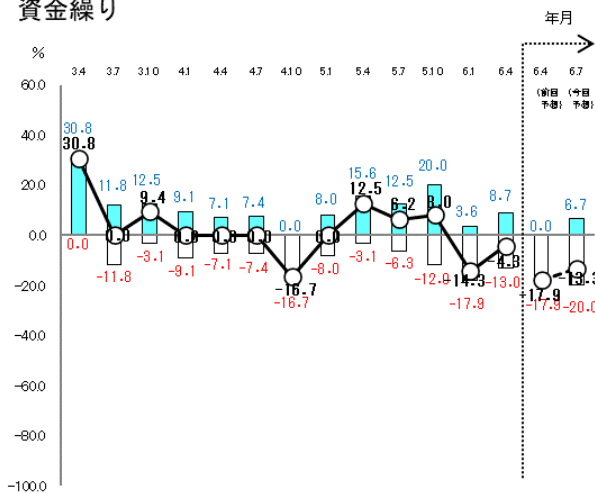
客数 (受注件数)



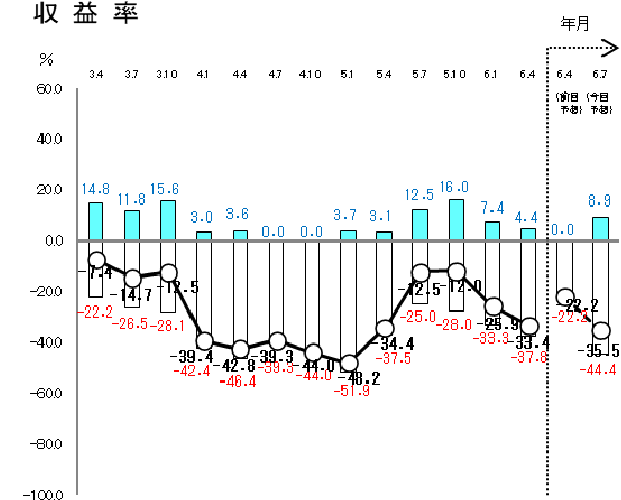
販売価格



資金繰り

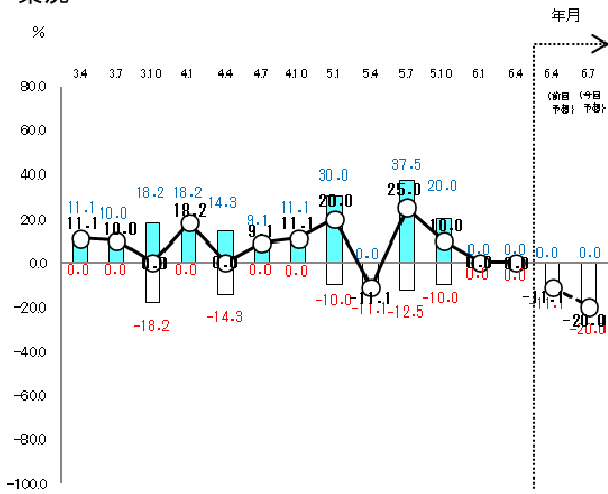


収益率

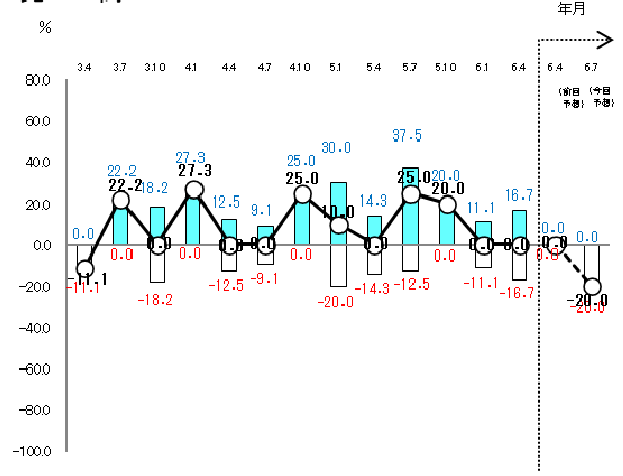


イ 情報サービス業

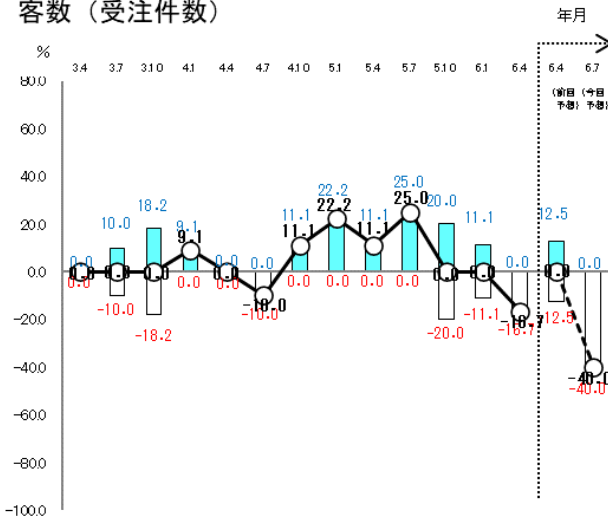
業況



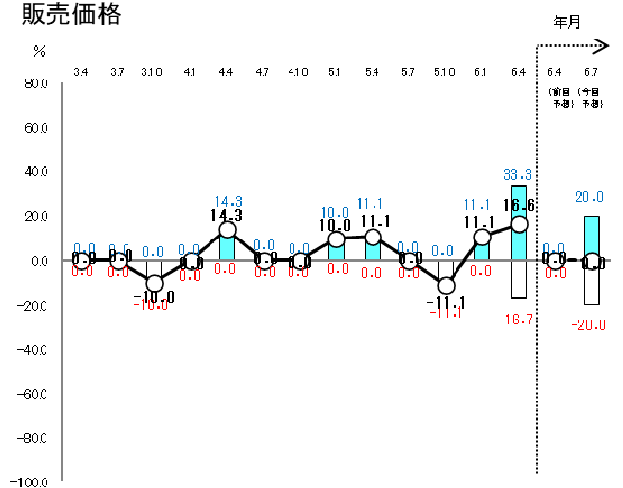
売上高



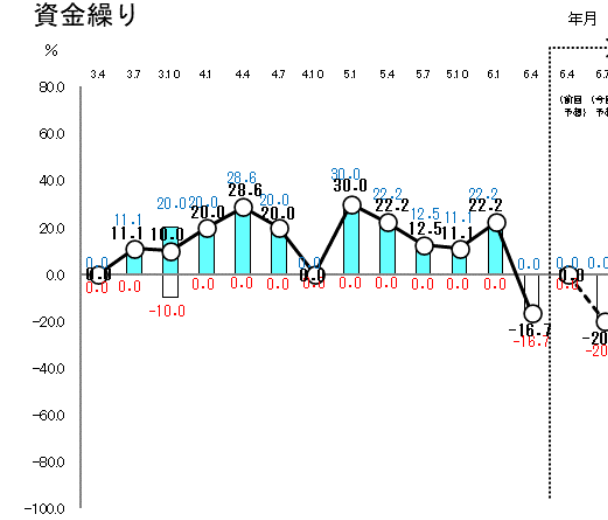
客数 (受注件数)



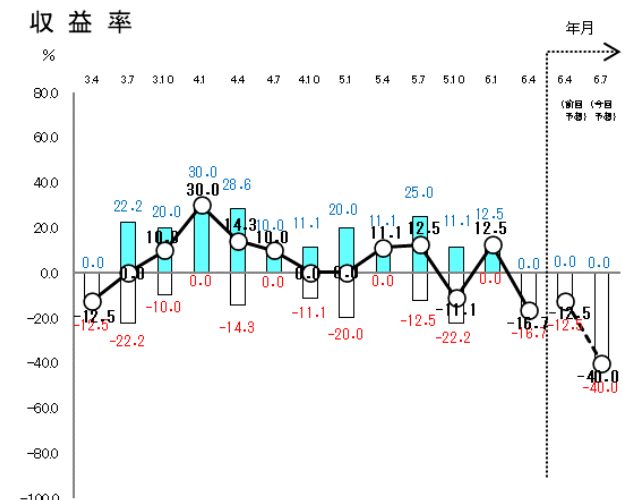
販売価格



資金繰り

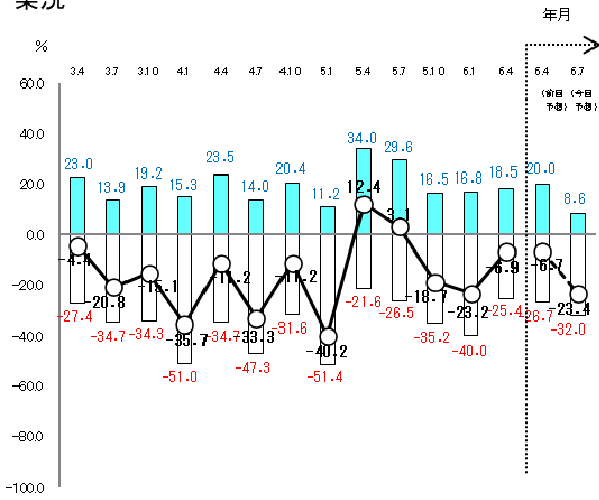


収益率

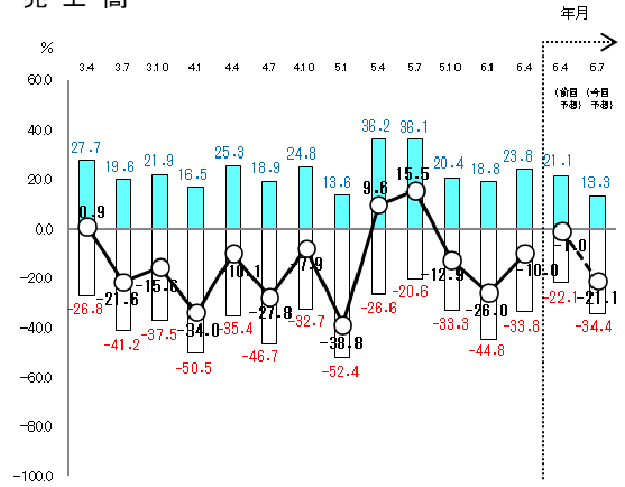


ウ 小売業

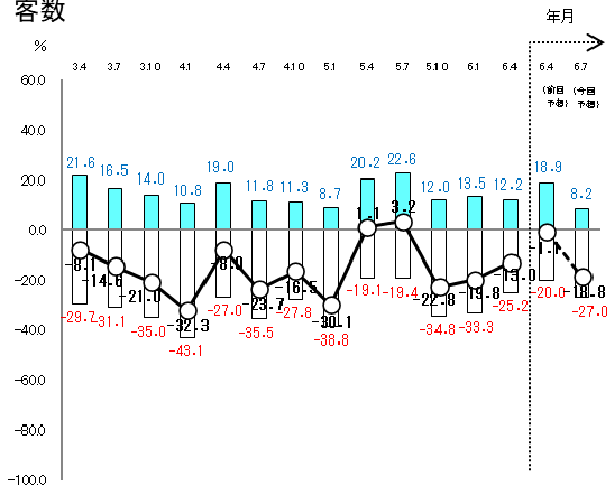
業況



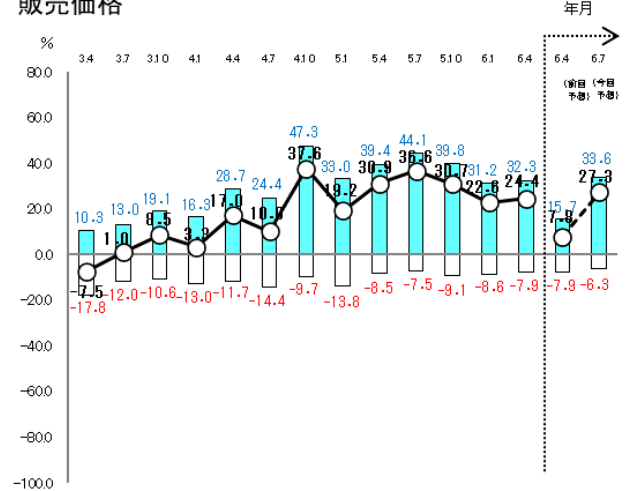
売上高



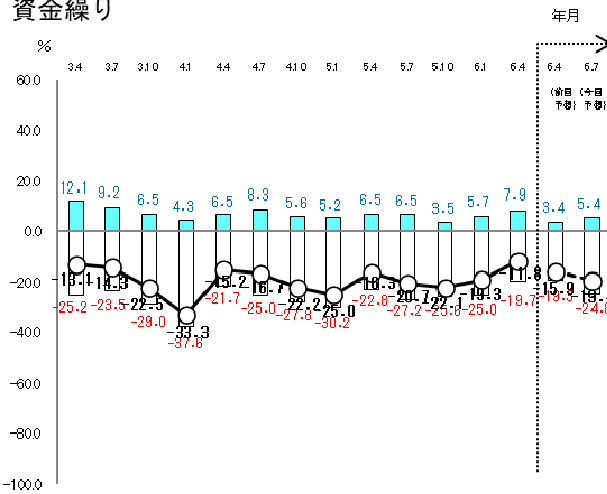
客数



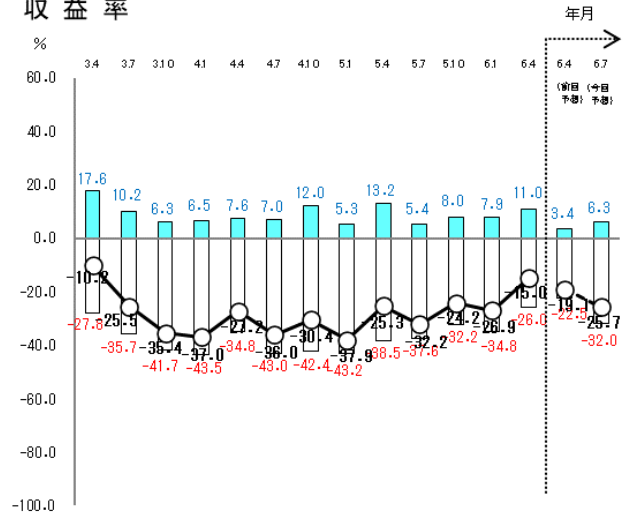
販売価格



資金繰り

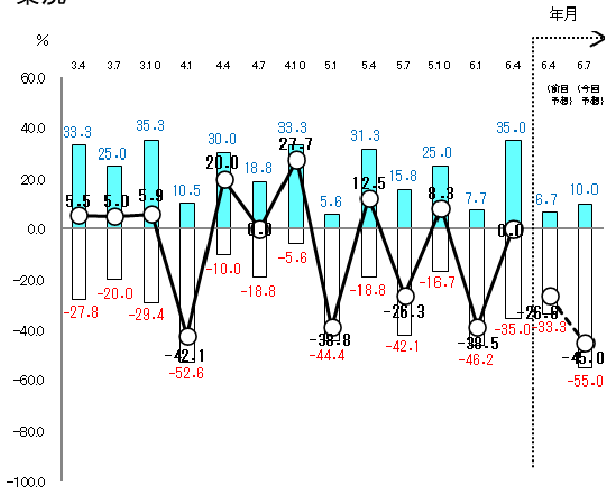


収益率

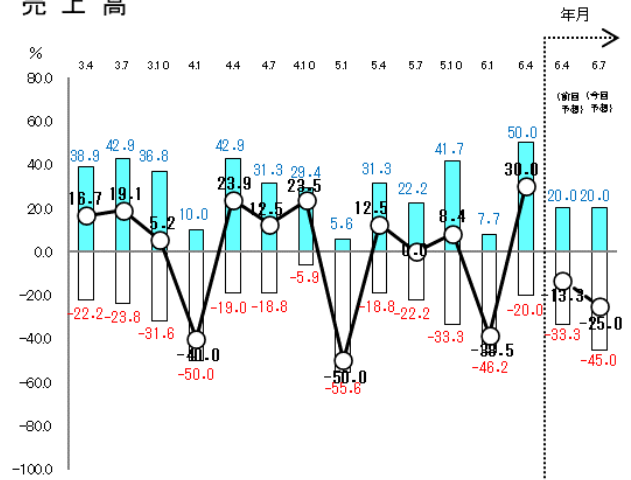


工 卸売業

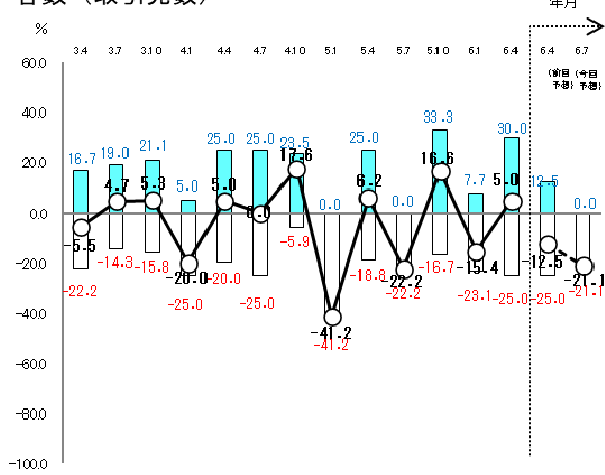
業況



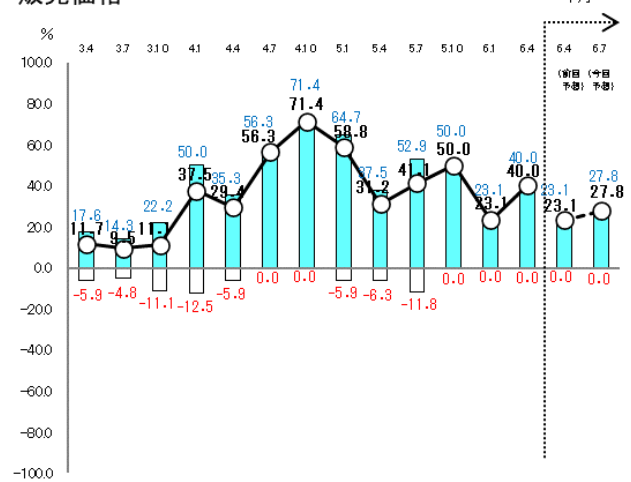
売上高



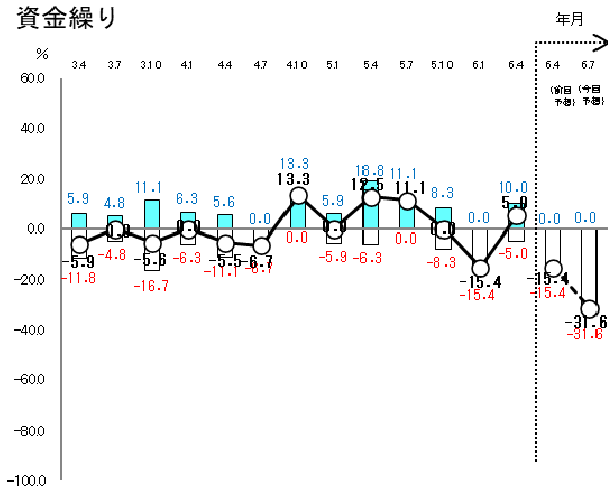
客数 (取引先数)



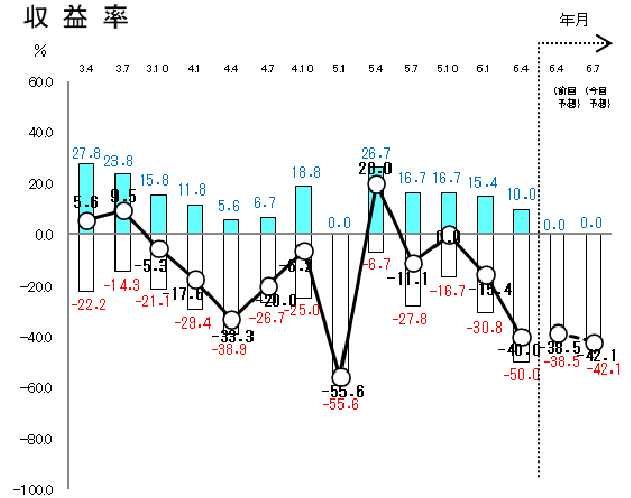
販売価格



資金繰り

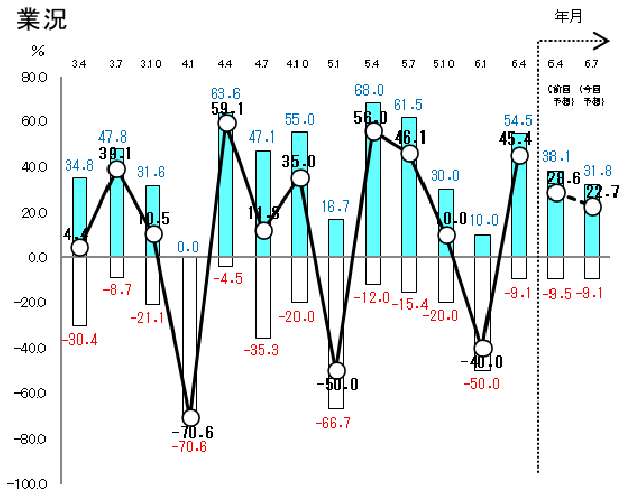


収益率

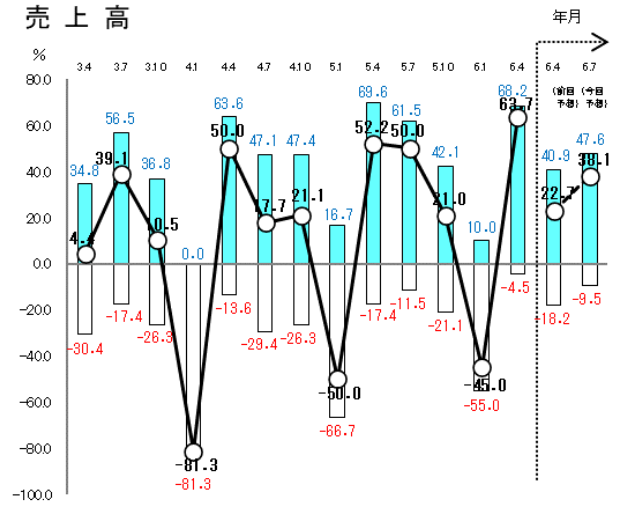


才 飲食業

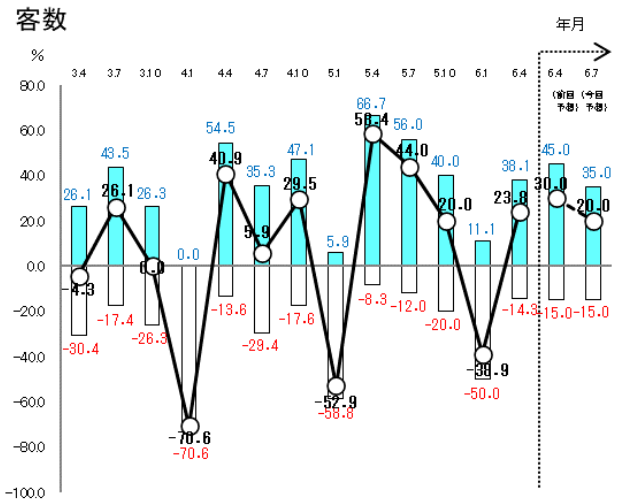
業況



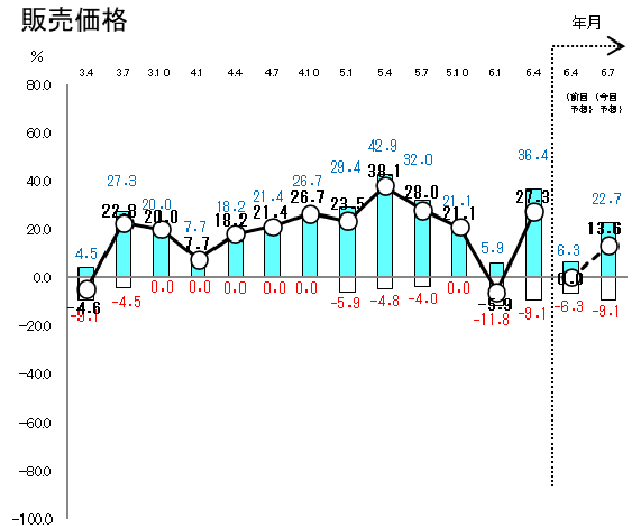
売上高



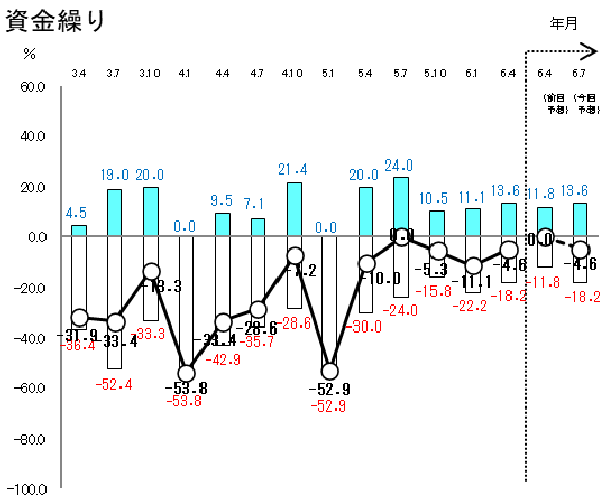
客数



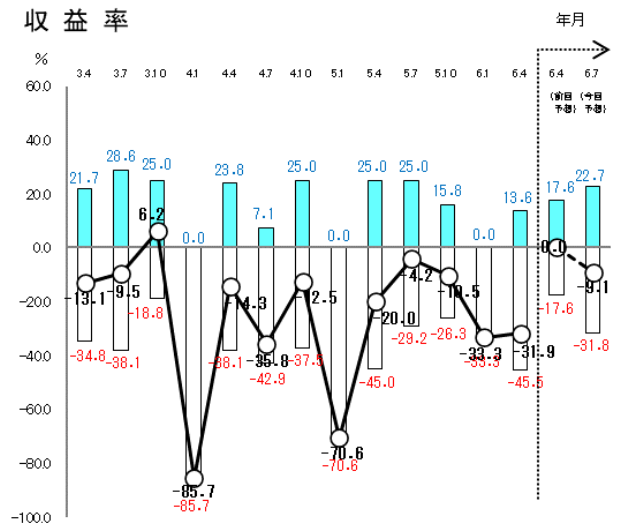
販売価格



資金繰り

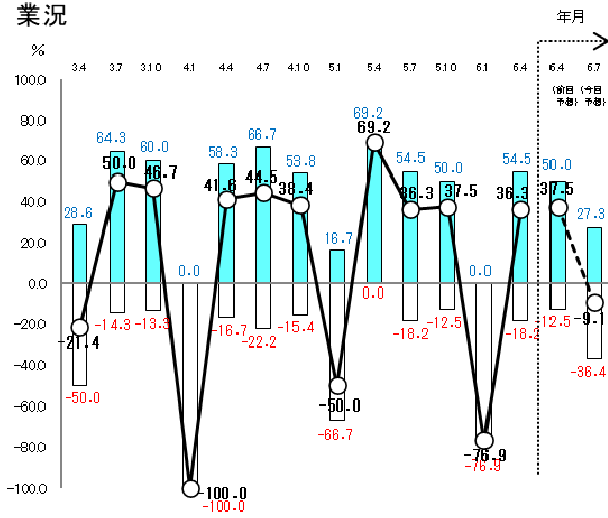


収益率

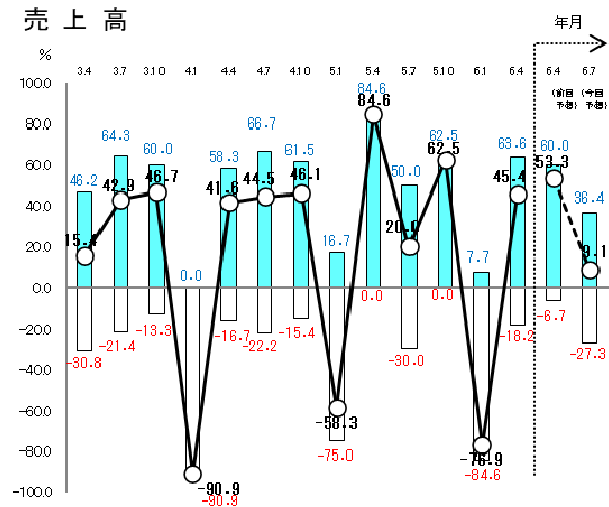


力 宿泊業

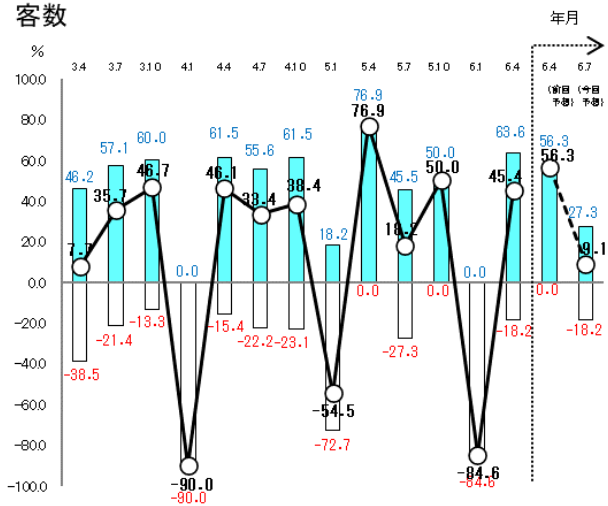
業況



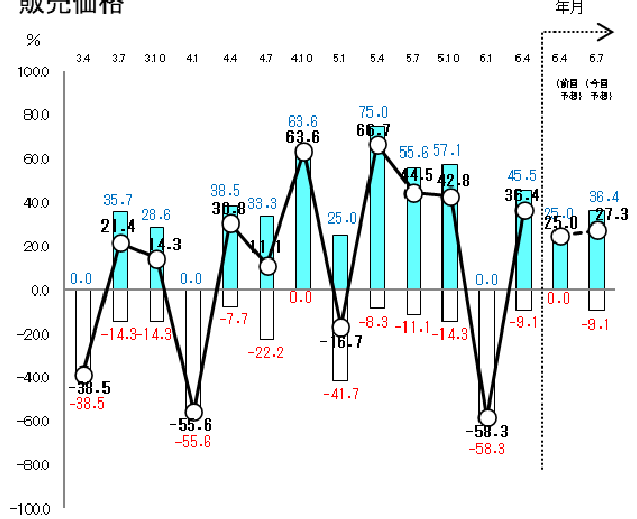
売上高



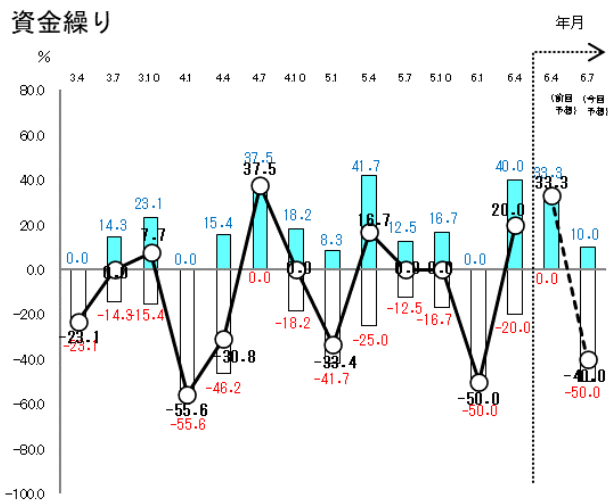
客数



販売価格



資金繰り



収益率

